

No. | 852
2023年
8月21日
月曜日発行

ひろしま北 民商ニュース

発行所 | 広島北民主商工会
広島市安佐南区緑井
6丁目12番10号
TEL 879-4060
FAX 879-4064
E-mail: kitaminsyou@yahoo.co.jp

自主記帳・自主計算
自主申告を貫こう！



原水爆禁止2023年世界大会

ヒロシマデー集会

核抑止力論は破綻 「核廃絶しかない」

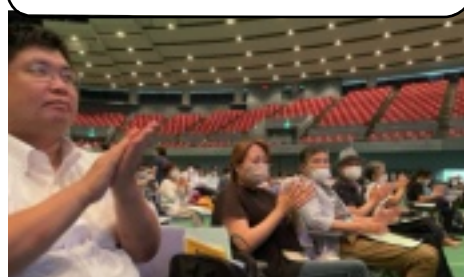
8月6日（日）、被爆78年目の夏は、被爆地ヒロシマで核保有国も含むG7の首脳会議が開かれ、核抑止力を肯定する「広島ビジョン」を広島出身の首相が大きな成果として自慢するという、核廃絶から逆行する危険性を感ぜさせる中で迎えました。

者に対し、「あなたは責任が取れるのですか」と非難の言葉を上げるなど、広島からの声は「核は廃絶しかない」の思いだったのではないかと思えます。

県立総合体育館（グリーンアリーナ）で開かれた原水爆禁止2023年世界大会・ヒロシマデー集会が、8月6日（日）の午後、開催されました。今年の世界大会は長崎がメイン会場だったこともあり、ヒロシマデー集会には中国・四国地方を中心に1500人の参加と、全国各地からのWebでの視聴があったようです。



久村会長（下写真左から4人目）ら北民商と、県内や全国の民商からも、核廃絶を誓い集会に参加しました。



ベル平和賞を受賞したサーロー節子さんの集会参加が事前に告知されていた事もあり、関心も高く、集会の中でも多くの時間を割いて、しっかりと話を聞く事ができました。自らの被爆体験やアメリカでの迫害、国連での核保有国の対応を目的の当りにする中で、念願の核兵器禁止条約ができ、この非核の火を次代へつなげて欲しいと訴えられました。また、黒い雨被害者の支援や、条約批准を求める署名への協力の呼びかけもあり、松井市長からの連帯のメッセージも紹介されました。

広島北民商からは、久村会長や事務局員ら5名が参加しました。

【陶山記】

ヒロシマデー集会に参加して

今年も世界各地から核兵器をなくそうと多くの方々が集まり、それぞれ活動や思いを聞かせてもらいました。その中でもサーロー節子さんと矢野さんの被爆の実体験の話が特に印象に残りました。

小学校以来（？）話を聞く機会が無かったという事もあり、78年前のことなのに昨日の事のように鮮明に覚えている事や、生き残ったことに罪を感じていたという話は、実体験だからこそこちらにもすこく伝わるものがありました。

【石川記】

インボイス制度まで1ヶ月と少し。登録するか、しないのか、迷っている方は民商へ

インボイス対策学習会

日程：8月22日（火） 民商事務所
10時30分、昼2時、夜7時
各回6組程度 ※要予約です

制度の問題点を知り、対策を学び合いましょう。申請が必要な方は、申請準備も一緒にできます。お知り合いの業者さんを誘っての参加もOKです。
※9月には請求書や帳簿（記帳）などの実務的な学習会も予定しています。日程は追ってお知らせします。

営業動向調査にご協力をお願いします

県内の中小業者を対象に、営業に関するアンケート調査をおこなっています。昨年の調査ではコロナ禍と物価高騰を乗り越えるため、広島県や自治体との懇談で活用し、支援制度の創設などに結び付けました。今年もインボイスなどの苦難が続く中、持続的な支援を求めて自治体懇談を予定しています。

第1次締め切りは8月31日です。お忙しい時期と思いますが、動向調査の趣旨にご理解いただき、ご協力の程よろしくお願ひします。一部の会員さんには返信用封筒を同封してお届けしています。

スマホでも回答できます

今回は、左下の『QRコード』をスマートフォンで読み取ると、スマホ画面で回答できる『 구글アンケート 』も用意しています（調査用紙にも掲載しています）。回答時には、広島北民商の会員の方は「広島北民商」を選択してください。商工新聞読者の方や会外の業者の方も、回答できます。その際は、お名前の後に「北民商読者」「北民商ニュースを見て」などと追記していただくと助かります。ご協力の程、よろしくお願ひします。

